

# 次世代教育に関する取り組み

- ◆ エネルギー資源の大半を海外に依存している我が国において、また、CO<sub>2</sub>の排出など地球環境保全が世界的な課題となっている現状において、地球の未来を担う次世代層が、エネルギーや環境問題に興味・関心を持つことは極めて重要
- ◆ このため、エネルギー事業者である当社は、その社会的な責任として、「次世代教育」を社会貢献における重点分野の一つとして定め、これまで様々な取り組みを実施

## <参考>

### 中部電力グループ社会貢献基本方針

中部電力グループは、良き企業市民として、地域・社会の持続的発展のために積極的な貢献をおこないます。

- 1 対話と協働を大切にしながら、よりよい地域・社会づくりをお手伝いしていきます。
- 2 企業としての社会貢献だけでなく、従業員の自発的活動を尊重し、積極的に支援していきます。
- 3 社会貢献活動の内容は広く一般にお知らせし、活動の持続的な改善に努めます。

#### 《重点分野》

○地域の安全・安心の確保

○環境の保全

○次世代教育

○文化・スポーツ活動

# 次世代教育の概要

<b>( ) 内は 開始・設立年</b>	<b>概 要</b>	<b>2017年度実績 (来館者数・参加者数、発行数等)</b>
<b>PR展示館の運営</b> (1972年 他)	エネルギーや環境の知識、情報について、わかりやすい展示や体験学習を通じて楽しく学ぶ	6館合計 63万人
<b>出前教室</b> (2002年)	社員やでんきの科学館スタッフが学校へ出向き、エネルギーや環境などについて、実験やクイズなどを交えながら楽しく一緒に学ぶ	368回 ・ 1万4千人
<b>施設見学</b> (2002年)	電気が、どこでどのように作られ、どのように届けられるのかなどを、施設見学を通じて学ぶ	479回 ・ 1万2千人 <b>【内訳】</b> 火力:228回、水力:31回、 原子力:5回、メガソーラー:1回 営業所:150回、変電所等:64回
<b>壁新聞 「電気こどもシリーズ」</b> (1951年)	子どもたちが科学やエネルギーをはじめ、様々な分野に興味を持ち「学ぶ楽しさ」を知ってもらうことを目的に、中部エリアの小学校などに配付。当社創業とともに創刊。2018年7月、740号を発行。	発行回数 10回 発行枚数 1万4千枚／号 配付箇所数 3千箇所 (小学校、児童養護施設、図書館、教育委員会)
<b>小学生サイエンスクラブ 「エレキッズ」</b> (2008年)	「見て・ふれて・体験する」イベントを通して、科学やエネルギーなどに興味を持つとともに、豊かな創造力を育むことを目的にした会員制クラブ (小学校3～6年生が対象)	会員数 : 5千人 (7月現在)

# PR展示館の運営

施設名称	所在地	開館年	来館者数 (2017年度)	来館者数 (開館以来)
 でんきの科学館	愛知県名古屋市中区	1986年7月	294,832人	15,523,752人
 浜岡原子力館	静岡県御前崎市	1972年8月	166,833人	11,059,023人
 川越電力館ら46	三重県三重郡川越町	1996年7月	79,213人	3,175,121人
 へきなん たんとピア	愛知県碧南市	1992年4月	63,825人	2,042,604人
 知多電力館	愛知県知多市	1979年9月	12,417人	835,196人
井川展示館	静岡県静岡市葵区	1979年8月	10,266人	798,907人
		<b>合計</b>	<b>627,386人</b>	<b>33,434,603人</b>